

平成27年度第8回石狩市浜益区地域協議会議事録

日 時：平成27年12月15日（水）18：00～18：50

場 所：浜益支所庁議室

資 料：会議次第

石狩市過疎地域自立促進市町村計画（案）

資料

石狩市過疎地域自立促進市町村計画 新規事業一覧

資料

＝会議次第＝

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 協議事項
 - 1) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について
 - 2) その他
4. その他
5. 次回開催日程について
6. 閉 会

出席者：21人（委員12名、職員9名）傍聴人：0名

委 員			職 員	
役 職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会 長	赤間 聖司	○	（支所）支所長	佐々木政人
副会長	大久保満彦	○	（支所）地域振興課長兼都市整備課浜益支所担当課長	木村 新吾
委 員	寺山 広司		（支所）市民福祉担当課長併任浜益生涯学習課長	開発 克久
委 員	久慈 貞子		（支所）保健福祉担当課長兼はまます保育園長 兼浜益国保診療所庶務課長	若狭 康晴
委 員	徳地 克実	○	（支所）地域振興課主幹	羽立 欣一
委 員	小田 則貞		（支所）地域振興課地域振興担当主査	袴田 実
委 員	安保美佐子	○	（支所）地域振興課地域振興担当主査兼産業振興担当主査	藤巻 誠一
委 員	三上 正信	○	（支所）地域振興課地域振興担当主任兼産業振興担当主任	須田 恒
委 員	白井かの子	○	（本庁）企画経済部企画課主幹	上窪 健一
委 員	羽立 裕子	○		
委 員	岸本 紀子	○		
委 員	川村 佳広	○		
委 員	山本 侑香	○		
委 員	石川 宗	○		
委 員	辻 カヨ子	○		

1 開 会

【木村課長】

皆様、本日はお忙しい中お集まり頂き有難うございます。

只今より平成27年度第8回浜益区地域協議会を開催いたします。開会にあたりまして赤間会長よりご挨拶をお願い致します。

2 会長あいさつ

【赤間会長】

年末を迎え何かとお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

11月は例年に無い好天に恵まれ、今月も穏やかで暖かい日が続いておりまして、今のところ雪もほとんど無く、このままの状態です。

今日は、石狩市過疎地域自立促進市町村計画についての協議が議題となっておりますので、忌憚の無いご意見をお願いいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。

【木村課長】

これより議事進行について、会長に議長をお願い致します。

3 協議事項

【赤間会長】

はじめに協議事項1) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について、説明をお願いします。

【上窪主幹】

1) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について、資料に基づき説明いたします。

資料 石狩市過疎地域自立促進市町村計画（案）

石狩市過疎地域自立促進市町村計画 新規事業一覧 （説明）

【赤間会長】

只今、協議事項1) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について説明がありましたが、何かございますか。

【徳地委員】

26ページの水産業で、ハタハタ・ウニ・アワビ以外の計画が無いのですが、今、石狩湾漁業協同組合で主な対象魚種は、ナマコ・ホタテ・アキアジ・ニシンですので、これらの計画を載せていただけないのでしょうか。

【上窪主幹】

この事業計画は、各所管課から計画実施予定のあるものを事業の拾い出しをしているものでありまして、ハタハタ・ウニ・アワビの地域水産物は、今の事業計画でも掲載している事業であります。

前回、サケの厚田における稚魚の飼育事業は掲載がありましたが、事業が終了したため掲載から落としています。委員からのご指摘の点をもう一度所管課と浜益支所と連携しながら検討したいと思います。

【赤間会長】

母体である漁協の意見、所管部と議論し、可能性があれば1項目入れる方向で進めていただきたいと思います。

【大久保委員】

51ページ集落支援員の導入について、具体的な内容はどのようなものでしょう。

【上窪主幹】

平成26年度から地域おこし協力隊を導入しておりまして、その制度と合わせて総務省で定められている制度でございます。集落支援員について、その中身は地域と行政を繋ぐ「キーパーソン」的な支援員を導入するものでして、地域おこし協力隊とは、別な人格です。

集落支援員については、まだ、導入していないが、今後において、実施する可能性があるということから、今回過疎計画に登載したものです。どちらの地区にいつ頃導入するなど具体の計画は、今現状ではありません。

【赤間会長】

よろしいでしょうか。他にございませんか。

【赤間会長】

無いようですので次にその他について、佐々木支所長からご説明していただきたいと思います。

【佐々木支所長】

第4回石狩市議会定例会におきまして、厚田区、浜益区の労働力不足についての議論がありました。少子高齢化が進んで、農漁業、果樹園、飲食店、小売店など、繁忙期の労働力が不足していることがありまして、今日は委員皆様のご意見がいただければと思います。

皆様方におかれましては、浜益の地域で農漁業や食堂、又はコンビニ等でアルバイトやお手伝いをさ

れている方もいらっしゃると思います。この労働力不足の解消について、もちろん花川などの市街地から労働力を送り込む仕組みと言いますか、そういうことも考えられますが、雇用主側の受入体制、雇用条件、稼働時間に係る賃金補償も含めると様々な課題も考えられると思います。

これらの問題について、今回だけでなく次回1月の地域協議会の場合でも、皆様の忌憚りの無いご意見をいただければと思います。

【赤間会長】

いま、佐々木支所長から厚田・浜益区の労働力不足ということで説明がございましたが、ざっくりばらんに様々な意見を出していただきたいと思います

【辻委員】

いまの現状から、労働力を生み出すというのは無理だと思います。呼び込まなければならないと思います。それには定年直後の浜益出身者を、できれば親元に呼び込むような施策が出来ないかと思うのです。まだ60代ですと、結構、労働力にも当てになるし、しかも親の介護なんかも出来たら凄く良いなと思っています。

繁忙期が重なる事もあるのですが、漁業と農業の忙しい時は、バラバラで、その人をどこでも使えるような、大きなアパートで仕事の胴元みたいな人たちがいればいいかなと思います。

【赤間会長】

大変良い意見ですね。どのような意見でもよろしいので、どんどん出してください。

【白井委員】

基本的に辻委員と同じ意見ですが、農業、漁業も夏が忙しく、現実的に労働力の奪い合いが起きています。夏場だけでも、例えば、空き家を整備して、区外から来ていただいて、そこで働きながら田舎暮らしをしていただいて、あわよくば住んでもらえるような受入体制を作れないでしょうか。

【赤間会長】

後、ございませんか。

【石川委員】

空き家再利用の話は出ているのですが、実際は家を解体している所が多くて、いざ存在していても中に親の荷物がそのままあるのです。それは何故かという、やはりそれを片付けにはお金がかかる、という事です。よしんば空いたとしても住めるか、住めないか分からない、そういう状態で、満足いくほどの資金を出す事は出来るのですか。

人を呼込むことは良いのですが、生活出来るとなれば、相当修理しなければならないと思います。いまの汲取り便所のままでは、都心部の人は来ないと思います。人手が足りないのは当たり前で、どこまで、イメージがあるのか。空き家調査の状況から分かるのでは。生活水準を下げてまで来る人はいない。

【佐々木支所長】

空き家の状況は、例えば「冬の屋根の雪が危険だ」など、消防署員が出向き、冬の間は住んでいないなどの調査であって、居住可否の調査はしていません。

【上窪主幹】

今年の事例として「地方創生交付金」を活用して、予算枠として500万円、最大50万、10件の予算枠があり、今年は10件予算執行しました。

「地方創生」は5年間続くことで、市でも「地方版総合戦略」を定めたところでありますが、まだ、交付金が国において動向が定まっていないので、予算措置をどうするのか、現状は言えませんが、今後、交付金により制度が継続することは考えています。

【佐々木支所長】

これをやったらすぐに人が来る施策はなかなか無いと考えます。

家の問題始め、例えば花川からバスを使用しても交通費は、誰が負担するのか、受入側が負担し経営していくとなると大きな出費になり、非常に難しい問題であります。

次回1月の地域協にペーパーで提出していただいても良いと考えます。

【赤間会長】

1月以降の協議会の中でも継続議論をして行きたいと思いますので、よろしくお願いします。

その他で何かございませんか。

【川村委員】

先日、黒毛和牛のレトルトプロジェクトに参加させていただきました。私も知らない事をたくさん勉強になったし、実現するためには、プロの目から見たらこうだと、イメージが出来ました。

そこでふと考えたのですが、他にプロジェクトがあるかどうか私は存じ上げないのですが、例えば観光のアドバイザー的なプロフェッショナル、旅行会社経営でもよろしいですし、企画を立てる専門家みたいな人を呼んだ、全員で、この場所でと言う事は良い形にならないでしょうが、プロジェクトのような少人数で勉強会をすとか、あるいは観光と一次産業が相乗効果を上げるような、ガイドプランがなかなか出てこないのですが、外の人から見たらこんな事が出来るのでは、みたいな会が出来ないかと、ふと思いました。

前回、若い人達との懇談会、例えば漁協青年部、そんな部門というのも合間に出ていたので、それは具体化できるのか。

みんながそこを目指していけるような、数値目標的な、例えばこの過疎地の計画、今回早く送っていただきましたし、前のもありましたので、大分私も読み込みました。非常に大事なことが書いてあって、現状もよくわかります。例えば数値目標として、来客数ですか、入り込み数とか書いてあります。それを倍増とは行かなくても、何万人、何十万人にすとかという目標を立てて、それに向けて農業関係ではこんな事ができるとか、商業の関係者はこんな事ができるとか、合体したらこのプラン可能だとか、このような目標数値を設定するのはどうかと、この三つを考えていました。

急にここでという事ではないと思うので、今後の検討の材料にさせていただけたらと思います。

【赤間会長】

あと他にございませんか。

4 そ の 他

【赤間会長】

それではないようですので、次にその他で事務局のほうでなにかございますか。

【袴田主査】

ありません。

5 次回開催日程について

【赤間会長】

無いようですので、次回開催日程について事務局から提案願います。

【袴田主査】

次期開催につきましては、1月22日金曜日午後4時00分からとしたいと思います。いかがでしょうか。

【赤間会長】

只今、事務局から提案ありましたとおり、次回開催は1月22日金曜日午後4時00分からといたします。よろしいでしょうか。

【出席委員全員】

はい。

7 閉 会

【赤間会長】

以上をもちまして平成27年度第8回浜益区地域協議会を閉会いたします。ご苦労様でした。

平成28年1月22日議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会 長 赤 間 聖 司